

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-272430

(P2002-272430A)

(43) 公開日 平成14年9月24日 (2002.9.24)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ページ* (参考)		
A 2 3 L	2/52	A 2 3 L	1/30	Z	4 B 0 1 7
	1/30			A	4 B 0 1 8
				B	4 C 0 8 4
		1/302			4 C 0 8 6
	1/302	A 6 1 K	31/197		4 C 0 8 8
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁) 最終頁に続く					

(21) 出願番号 特願2001-82548(P2001-82548)

(22) 出願日 平成13年3月22日 (2001.3.22)

(71) 出願人 500297904

日本薬品研究所株式会社

愛知県豊田市曙町3丁目25番地

(72) 発明者 桃原 長司

愛知県名古屋市中区門前町1番60号

(74) 代理人 100082773

弁理士 柴田 肇

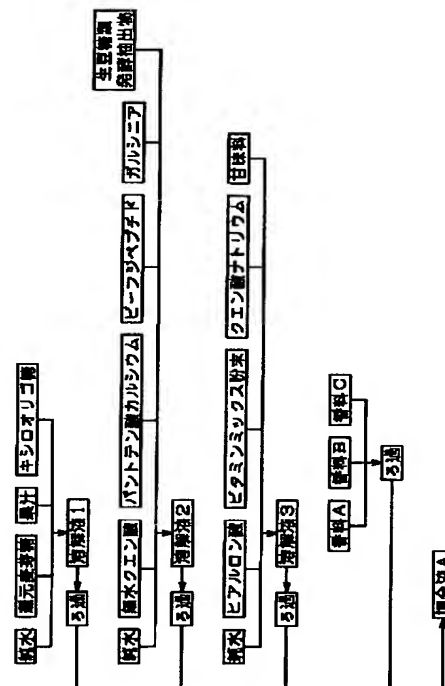
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 健康飲料

(57) 【要約】

【課題】 便秘改善やダイエットに効果があり、美容や滋養強壮、免疫力の向上にも効果があると同時に飲み易いことから継続して飲み続けることができる健康飲料を提供する。

【解決手段】 キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カルシウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、ヒアルロン酸及び果汁を含有する健康飲料。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カルシウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、及びヒアルロン酸を含有することを特徴とする健康飲料。

【請求項2】 キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カルシウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、ヒアルロン酸及び果汁を含有することを特徴とする健康飲料。

【請求項3】 前記漢方抽出液はサルノコシカケ、ドンコ椎茸、甘茶、エノキダケ、番瀉軸、霊芝、カワラタケ、クマザサ、ドクダミ、朝鮮人参、コンフリー、桂皮、オオバコ、クコ葉及びハトムギを含有してなる請求項1又は2に記載の健康飲料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ダイエット、美容、便秘改善、滋養強壮等を目的とする健康飲料に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、オリゴ糖類は腸内でいわゆる腸内悪玉菌である大腸菌等を減少させ、相対的に腸内善玉菌であるビフィズス菌を増殖させて便秘を改善する作用があることは知られており、オリゴ糖類を含有した健康飲料は数多く製品化されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、便秘改善とともにダイエットにも効果のある健康飲料は少ない。又、ダイエットのみに集中しすぎると体に必要なビタミン等の摂取が不足がちとなり、かえって不健康な状態となるが、ダイエット効果とともに美容や滋養強壮、免疫力向上にも効果のある健康飲料はあまり知られていない。さらに、ダイエット効果はある程度長期にわたって飲み続けることにより表れるものであり、いくら体に良い成分が含まれていても苦味がある健康飲料を飲み続けることは難しく、ダイエット効果が期待できない。

【0004】本発明は、上記点に鑑み、便秘改善やダイエットに効果があり、美容や滋養強壮、免疫力の向上にも効果があるとともに飲み易いことから継続して飲み続けることができる健康飲料を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カルシウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、及びヒアルロン酸を含有することを特徴とする健康飲料を要旨とする。

【0006】又、キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カル

シウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、ヒアルロン酸及び果汁を含有することを特徴とする健康飲料を要旨とする。

【0007】さらに、前記漢方抽出液はサルノコシカケ、ドンコ椎茸、甘茶、エノキダケ、番瀉軸、霊芝、カワラタケ、クマザサ、ドクダミ、朝鮮人参、コンフリー、桂皮、オオバコ、クコ葉及びハトムギを含有してなる健康飲料を要旨とする。

【0008】

10 【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を説明する。図1乃至図3は本発明に係る健康飲料の製造工程を示す図である。図1を用いて調合液Aの製造工程を説明する。まず、純水に還元麦芽糖、果汁及びキシロオリゴ糖が加えられて溶解され、溶解液1が生成される。ここで、キシロオリゴ糖はビフィズス菌を腸内で増加させ便秘を改善する効果が知られている。又、果汁にはグレープフルーツ、りんご、みかん、桃、ぶどう、パイナップル等の中から選択したものをを用いる。

20 【0009】次に、純水に無水クエン酸、パントテン酸カルシウム、ビーフジペプチド、ガルシニア粉末及び生豆糖類発酵抽出物が加えられて溶解され、溶解液2が生成される。ここで、パントテン酸カルシウムは糖質、脂質、たんぱく質等の代謝を促進する効果が知られている。又、ビーフジペプチドは血液中の脂肪酸を筋肉で燃焼させる働きをすることが知られている。さらに、ガルシニアは食欲を抑えて満腹感を持続させる効果が知られている。又、生豆糖類発酵抽出物は紫外線により発生する活性酸素の増加を防いで一定に保つことにより、中性脂肪を減らし、肥満を防ぐ効果が知られている。

30 【0010】さらに、純水にヒアルロン酸、ビタミンミックス粉末、クエン酸ナトリウム及び甘味料が加えられて溶解され、溶解液3が生成される。ここで、ヒアルロン酸は肌に潤いを与え、老化現象である乾燥肌、シミ、シワを改善する効果が知られている。又、ビタミンミックス粉末はビタミンB1、ビタミンB2、ナイアシン（ビタミンB3）、ビタミンB6、葉酸（ビタミンM）、ビタミンB12、ビタミンCの各々の粉末が混合されたものである。ここで、ビタミンB1は糖質の分解を助けるとともに乳酸を分解して疲労を回復させる効果が知られている。又、ビタミンB2は脂肪の分解やたんぱく質の合成に働き過酸化脂質を防ぐ効果が知られている。さらに、ナイアシン（ビタミンB3）は脂肪をエネルギーに変える効果が知られている。又、ビタミンB6は脂肪肝、アルコール肝を防ぎアレルギーの免疫を作る効果が知られている。さらに、葉酸（ビタミンM）は赤血球の製造に欠かせない物質であり、貧血に有効であることが知られている。又、ビタミンB12は葉酸とともに貧血に有効であることが知られており、肩こりや腰痛を改善し、集中力や記憶力を向上させる効果も知られている。さらに、ビタミンCはコラーゲンの生成に必要

不可欠であり、シミなどの原因であるメラニン色素の生成を抑える効果が知られている。

【0011】そして、香料A、B及びCが混合されてろ過されたものと、上述の溶解液1、2及び3の各々がろ過されたものとが混合されて調合液Aが生成されるのである。

【0012】次に、図2を用いて抽出液Bの製造工程を説明する。まず、純水に免疫力の向上に有効なサルノコシカケ、カワラタケ、エノキダケ、新陳代謝を促進し利尿作用のあるクマザサ、滋養強壮に有効な霊芝、利尿作用及び整腸作用のあるドクダミ、滋養強壮に有効で利尿作用もある朝鮮人参、コレステロールを抑制し抗酸化、抗菌作用のあるコンフリー、抗菌作用及び生理痛改善作用のある桂皮、食物繊維が豊富なオオバコ、動脈硬化やしもやけに有効なドンコ椎茸、便秘改善作用のある番瀉軸、アトピー性皮膚炎や便秘及び血圧抑制に有効な甘茶、滋養強壮や血行促進及び便秘に有効なクコ葉、滋養*

*強壮や美肌効果を有するハトムギが加えられて煮沸水槽の中で120℃以上の温度で90分間煮沸される。この煮沸された抽出液はろ過された後、便秘や胃腸障害の改善に有効で美顔美容にも優れるアロエエキスとコレステロールの増加を抑制し抗酸化及び抗菌作用のあるマグロップとともに60℃～70℃の温度のタンク内で混合され、さらに85℃以上の温度で45分以上滅菌されて抽出液Bが生成されるのである。

【0013】最後に図3に示すように、調合液Aと抽出液Bとが混合されてろ過されたものと純水とが比例混合され、これを更に加熱し、ろ過した後に容器に充填して健康飲料の製造が完了するのである。

【0014】表1は本願発明に係る健康飲料190gあたりに含まれている各成分の割合の一例を示したものである。

【0015】

【表1】

キシロオリゴ糖	0.1320(%)
ビタミンミックス粉末	0.0790
ビーフジペプチド	0.0530
漢方抽出液	0.0720
パントテン酸カルシウム	0.0290
ガルシニア粉末	0.0260
生豆糖類発酵抽出粉末	0.0100
ヒアルロン酸	0.0010
果汁	0.4300
無水クエン酸	0.1400
クエン酸ナトリウム	0.0400
人工甘味料	0.0085
香料	0.1800

【0016】表2は本願発明に係る健康飲料190gあたりの各種ビタミンの含有量の理論値を示したものである。

※【0017】

【表2】

※

(理論値)

ビタミンB1	0.8mg
ビタミンB2	1.1mg
ナイアシン(ビタミンB3)	12.8mg
ビタミンB6	1.5mg
ビタミンB12	4.5μg
葉酸(ビタミンM)	0.3mg
ビタミンC	37.5mg

【0018】表3は本願発明に係る健康飲料100g中に含まれるの栄養分の分析結果を示したものである。

【0019】

【表3】

たんぱく質	0	g
脂質	0	g
灰分	0	g
炭水化物	2.5	g
マルチトール	1.31	g
キシオピオース	0.03	g
ナトリウム	11.5	mg
エネルギー	7	kcal

【0020】

【発明の効果】以上のように本発明は、キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カルシウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、及びヒアルロン酸を含有することを特徴とする健康飲料を要旨とするので、便秘を改善する効果と、食欲を抑えるダイエット効果とを有するとともに栄養強壮、美顔美容にも優れた健康飲料である。

【0021】又、キシロオリゴ糖、ビタミンミックス粉末、ビーフジペプチド、漢方抽出液、パントテン酸カル

10

シウム、ガルシニア粉末、生豆糖類発酵抽出粉末、ヒアルロン酸及び果汁を含有することを特徴とする健康飲料を要旨とするので、上述の効果に加えて飲み易いことから長期間持続して飲み続けることができ、これによりダイエット効果が顕著となる。

【0022】さらに、前記漢方抽出液はサルノコシカケ、ドンコ椎茸、甘茶、エノキダケ、番瀉軸、霊芝、カワラタケ、クマザサ、ドクダミ、朝鮮人参、コンフリー、桂皮、オオバコ、クコ葉及びハトムギを含有してなる健康飲料を要旨とするので、漢方抽出液に含まれる各種成分によって利尿作用、整腸作用、栄養強壮等の各種効果を奏することができる。

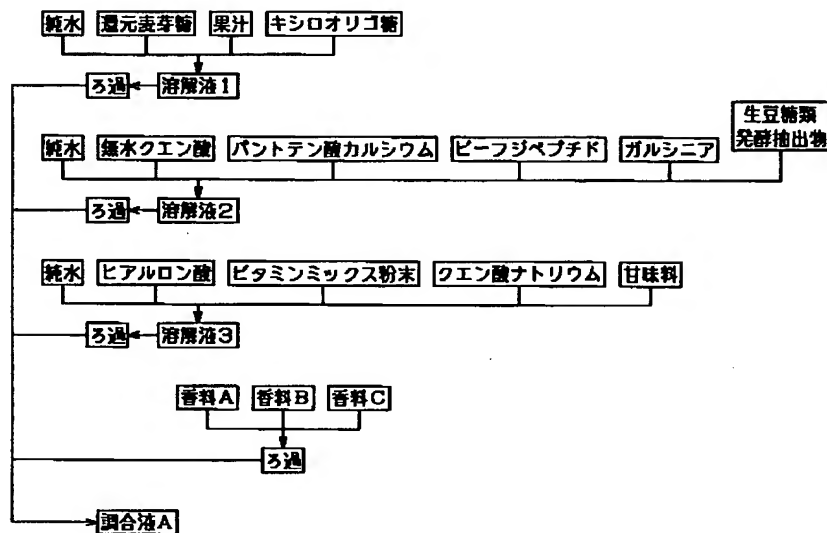
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る健康飲料の製造工程の一部（調合液Aの生成）を示す図である。

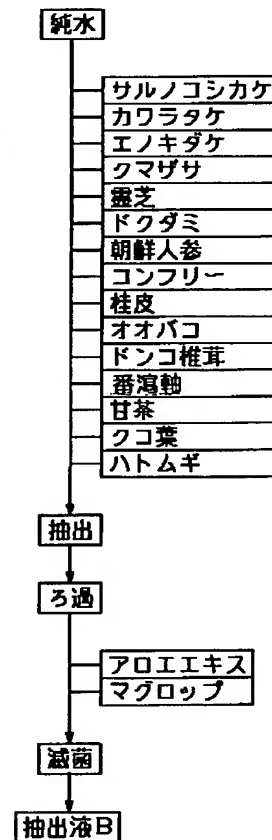
【図2】本発明に係る健康飲料の製造工程の一部（抽出液Bの生成）を示す図である。

【図3】本発明に係る健康飲料の製造工程の一部（調合液Aと抽出液Bの混合）を示す図である。

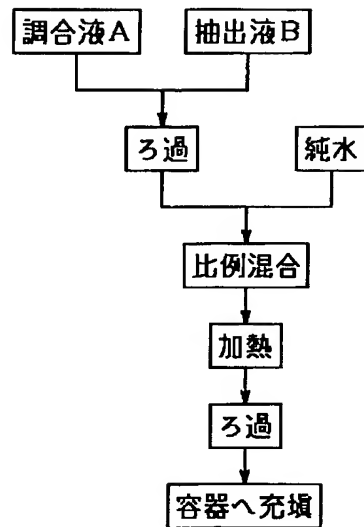
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード(参考)
A 6 1 K 31/197		A 6 1 K 31/702	4 C 2 0 6
		31/702	
		31/728	
		35/78	W
		45/06	
		A 6 1 P 1/10	
		1/14	
A 6 1 P 1/10		3/04	
		A 2 3 L 2/00	F
		A 6 1 K 37/02	

Fターム(参考) 4B017 LC03 LC04 LG15 LG16 LG17
LG19 LK13 LK16 LK17
4B018 LB08 LE05 MD04 MD23 MD31
MD33 MD51 MD57 MD61 MD64
MD70 MD82 MD83 MD84 ME01
ME02 ME11
4C084 AA01 AA24 BA03 CA20 MA52
NA05 ZA692 ZA702 ZA722
ZC752
4C086 AA01 EA01 MA03 MA04 MA52
NA05 ZA69 ZA70 ZA72 ZC75
4C088 AA04 AA05 AA06 AB12 AB18
AB22 AB33 AB47 AB48 AB66
AB76 AB77 AC02 CA03 MA08
MA52 ZA69 ZA70 ZA72 ZC75
4C206 AA01 GA05 GA36 MA03 MA72
NA05 ZA69 ZA70 ZA72 ZC75